

**その他 ～2工区(No.46)～  
(施工後約4年8ヵ月)の状況**

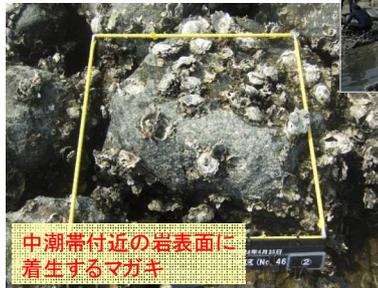
昨年春季調査(H23年4月)と  
ほぼ同様の出現状況であった。  
マガキは被度がやや減少。



2工区周辺の状況



高～中潮帯の岩表面に  
付着するイワフジツボ



中潮帯付近の岩表面に  
着生するマガキ



低潮帯付近の岩表面に  
着生するマガキ



捨石のり先付近のマガキ

**その他 ～乱積み施工部～  
(施工後約4年8ヵ月後)の状況**

昨年春季調査(H23年4月)と  
ほぼ同様の出現状況であった。



乱積み部周辺の状況



高潮帯の岩表面に付着する  
タマキビガイ



高～中潮帯の岩表面に  
付着するイワフジツボ



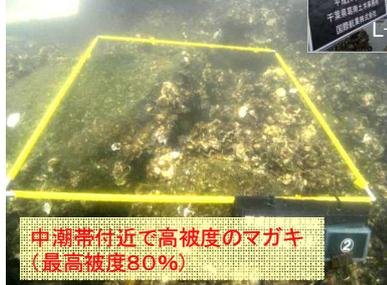
中潮帯付近の岩表面に  
着生するマガキ



捨石のり先の砂底域で確認された  
ホンビノスガイ

その他 ~L-2 (測線No.58) ~  
(施工後約3年10ヵ月) の状況

昨年春季調査(H23年4月)と  
ほぼ同様の出現状況であった。



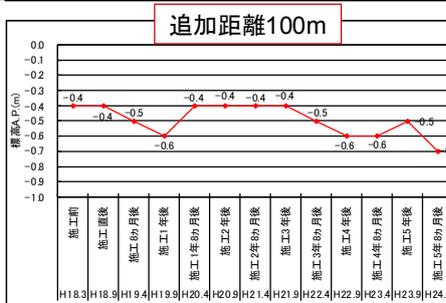
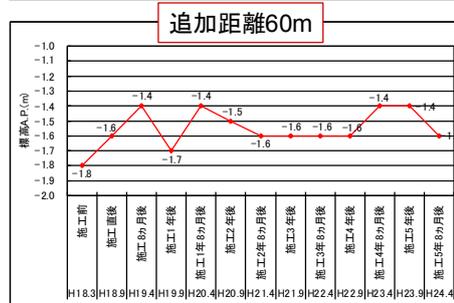
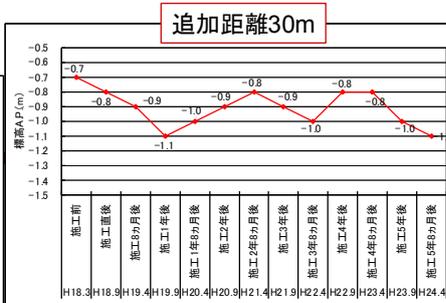
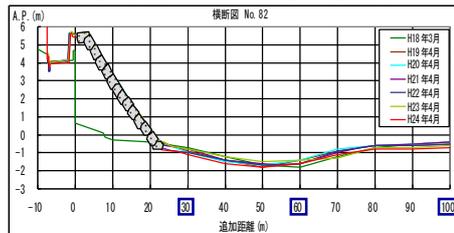
余 白

# 参考資料

1. 地形調査結果に係る参考データ . . . . . 参考- 1
2. 底質調査結果に係る参考データ . . . . . 参考- 6
3. 生物調査結果に係る参考データ . . . . . 参考- 7

## 1. 地形調査結果に係る参考データ

### (1) 1工区(測線No.82)各地点地盤高の変化



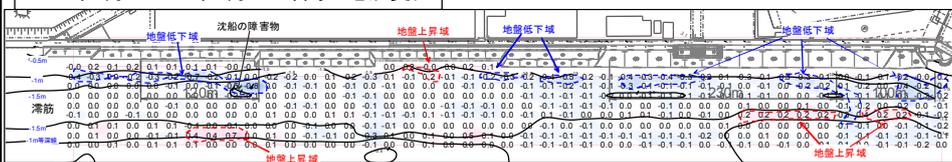
石積護岸沖合の各地点の地盤高の変化を時系列でみると、前回H23年9月と比較して地盤は-10~20cm低下しているが、現時点で顕著な地形変化や一定の傾向はみられない。

※H23年4月及びH23年9月の測量結果は、地震による市川海岸一帯(全体)で沈下した量は考慮していない。 参考-1

# 1. 地形調査結果に係る参考データ

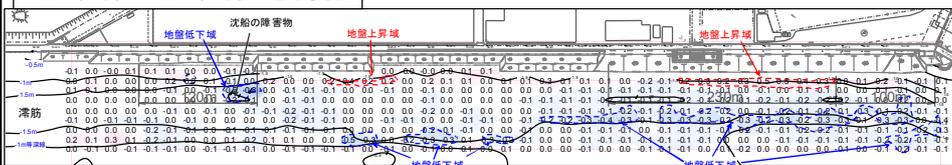
## (2) 護岸改修範囲前面の地形変化の状況

H23年4月～H24年4月の1年間の地形変化



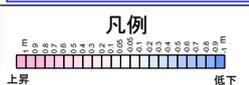
1年間の地盤高の変化は、主に滞筋の護岸寄り(水深-1～-1.5m)で地盤が低下、滞筋の沖合(水深-1～-1.5m)の一部で地盤が上昇している箇所がみられる。

H23年9月～H24年4月の地形変化



前回調査(H23年9月)からの変化は、主に滞筋の護岸寄り(水深-1～-1.5m)で地盤の上昇、滞筋の沖合(水深-1～-1.5m)で地盤が低下している箇所がみられる。

1年間の変化と比べて、変化箇所は異なり、地形変化に一定の傾向はみられない。



参考-2

# 1. 地形調査結果に係る参考データ

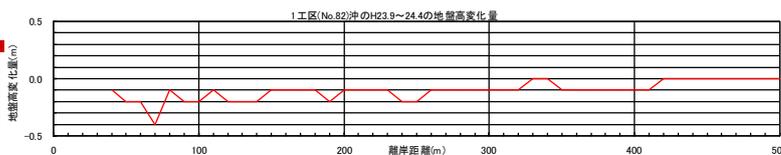
## (3) 500m沖合いまでの地形変化

1工区(No.82)

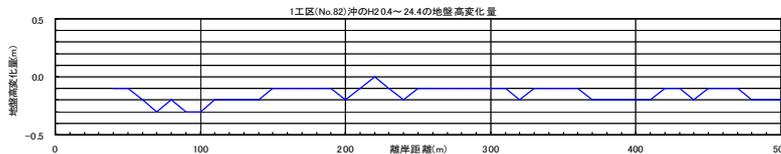
100mより沖合では、前回H23年9月と比較して0～-20cm程度の変化であった。



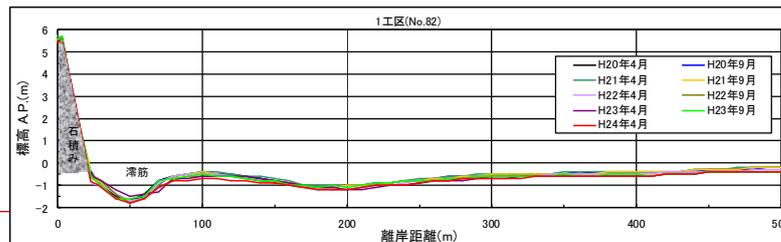
前回H23年9月からH24年4月までの地盤高変化



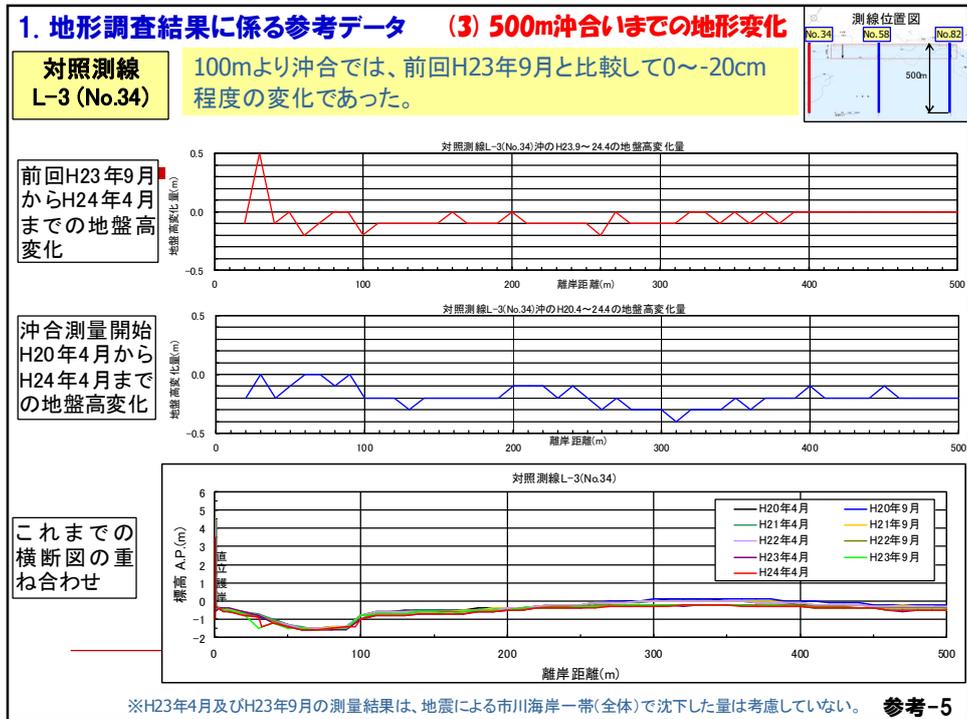
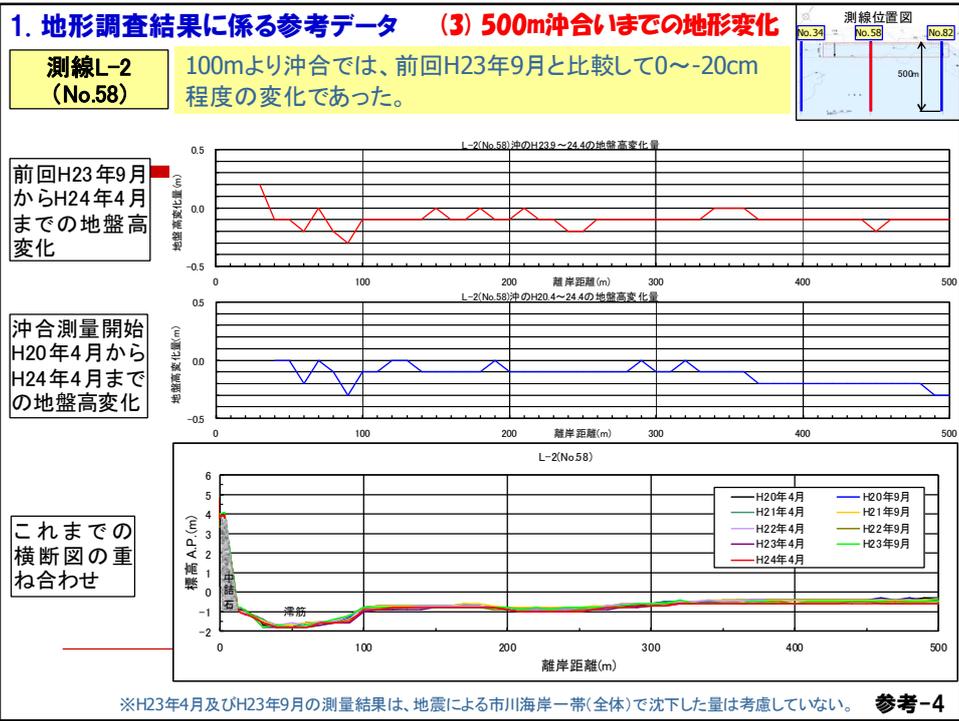
沖合測量開始H20年4月からH24年4月までの地盤高変化

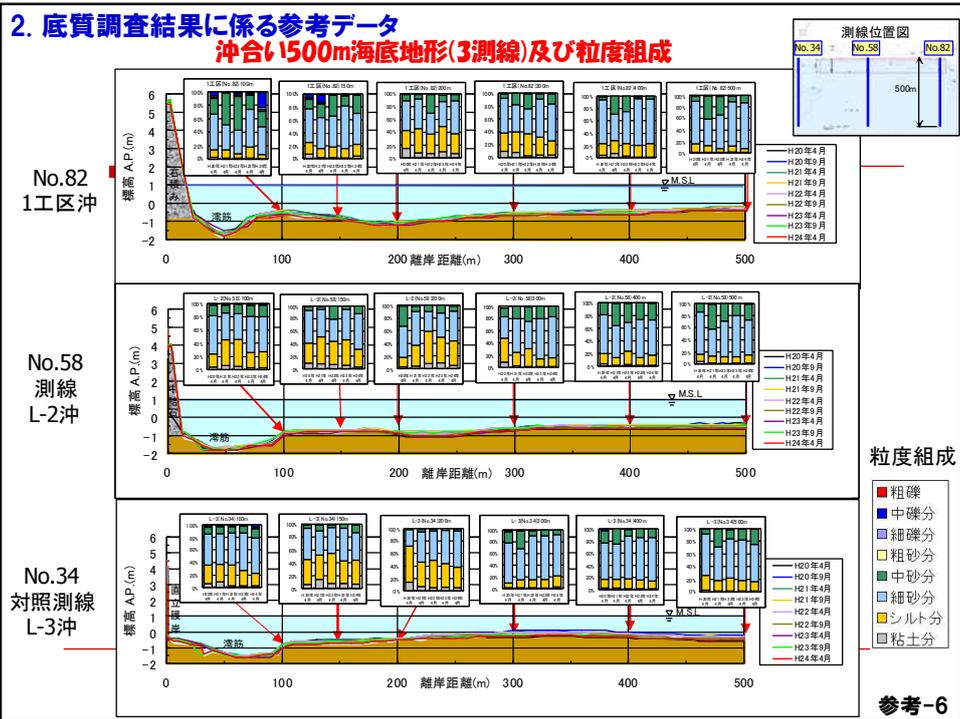


これまでの横断面の重ね合わせ



※H23年4月及びH23年9月の測量結果は、地震による市川海岸一帯(全体)で沈下した量は考慮していない。 参考-3





## 3. 生物調査結果に係る参考データ

### (1) 生物調査当日の海域の状況

**【冬季】**

**1工区石積み護岸前面の水質  
(1月27日10時02分)**

水温 : 7.0°C  
 塩分 : 30.7  
 溶存酸素量DO : 10.0mg/L

※昨年冬季H23.1.12の水質は、水温:8.4°C  
 塩分:31.1  
 DO: 11.4mg/Lであった。

**【春季】**

**1工区石積み護岸前面の水質  
(4月26日9時43分)**

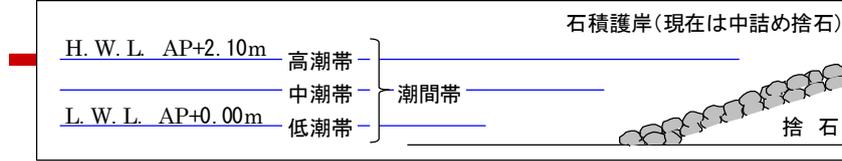
水温 : 18.5°C  
 塩分 : 30.5  
 溶存酸素量DO : 6.3mg/L

※昨年春季H23.4.26の水質は、水温:16.9°C  
 塩分:28.2  
 DO: 7.0mg/Lであった。

**参考-7**

### 3. 生物調査結果に係る参考データ

#### (2) 2工区 護岸部潮間帯への生物の着生状況(種類数)



2工区における施工後の潮間帯動物の種類数比較(ベルトトランセクト法)

種類数/0.25m<sup>2</sup>

	施工前 春季 H19年 4月 (直立護岸)	約1ヵ月後	約5ヵ月後	約8ヵ月後	約1年後	約1年 5ヵ月後	約1年 8ヵ月後	約2年後	約2年 5ヵ月後	約2年 8ヵ月後	約3年後	約3年 5ヵ月後	約3年 8ヵ月後	約4年後	約4年 5ヵ月後	約4年 8ヵ月後
		夏季 H19年 8月	冬季 H20年 1月	春季 H20年 4月	夏季 H20年 9月	冬季 H21年 1月	春季 H21年 4月	夏季 H21年 9月	冬季 H22年 1月	春季 H22年 4月	夏季 H22年 9月	冬季 H23年 1月	春季 H23年 4月	夏季 H23年 9月	冬季 H24年 1月	春季 H24年 4月
	(石積護岸:中詰め捨石)															
高潮帯	7	2	3	5	7	5	5	6	4	5	7	3	7	4	4	6
中潮帯	5	5	2	3	4	3	6	7	5	4	6	6	8	7	6	6
低潮帯 (うち魚類)	7 (0)	5 (1)	3 (0)	6 (1)	10 (5)	6 (0)	3 (0)	7 (2)	7 (0)	8 (1)	6 (2)	3 (0)	11 (1)	5 (2)	7 (0)	7 (1)

※種類数には魚類を含む。

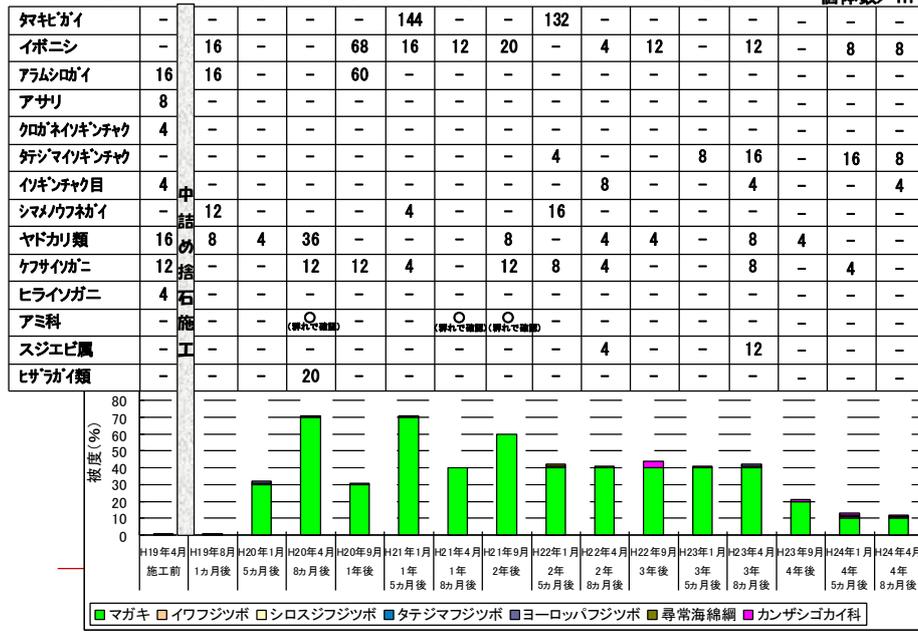
参考-8

### 3. 生物調査結果に係る参考データ

参考-9

#### (3) 2工区における潮間帯動物の定着状況(低潮帯) ※魚類は除く。

個体数/m<sup>2</sup>

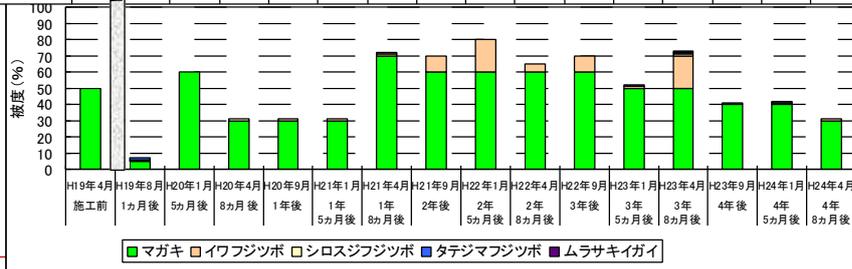


### 3. 生物調査結果に係る参考データ

#### (3) 2工区における潮間帯動物の定着状況(中潮帯)

個体数/m<sup>2</sup>

タマキビガイ	464	-	-	-	-	888	1200	-	120	-	-	16	8	-	4	8
イボニシ	24	4	-	-	8	-	-	4	-	4	-	-	16	8	8	32
カラマツガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
レイシガイ	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アラムシロガイ	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フナムシ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
ヤドカリ類	12	-	-	-	-	8	16	-	8	4	-	-	4	-	-	-
ケフサインゴニ	-	め	4	-	4	-	-	4	8	-	-	-	-	4	4	-
アミ科	-	括	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
		石						(裸れで								
		施						確認)								
タシマイソギンチャク	-	工	-	-	-	-	-	-	4	-	-	4	24	-	-	12



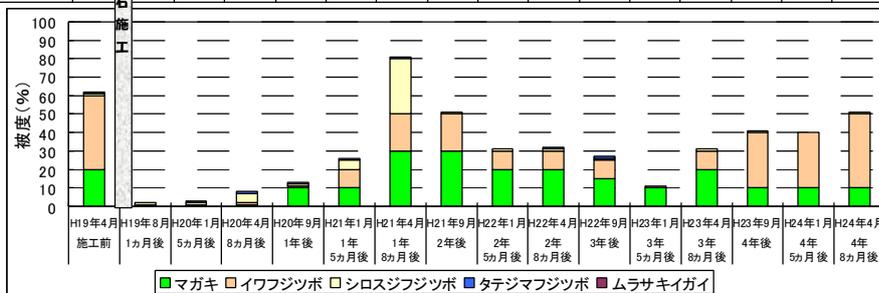
参考-10

### 3. 生物調査結果に係る参考データ

#### (3) 2工区における潮間帯動物の定着状況(高潮帯)

個体数/m<sup>2</sup>

タマキビガイ	756	-	-	4	2560	368	580	180	196	252	52	152	8	-	60	12
カラマツガイ	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タシマイソギンチャク	12	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	36	-	8	20
イボニシ	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	4	-	8	8	-	-
レイシガイ	-	中	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		話														
フナムシ属	-	め	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	8
ヤドカリ類	-	括	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
		石														
		施														
		工														



参考-11

### 3. 生物調査結果に係る参考データ

参考-12

#### (4) 砂付け試験箇所の生物観察結果【冬季】

\* 砂付け試験の調査はH24年1月をもって終了した。

砂付け試験箇所の状況  
【冬季: H24年1月】

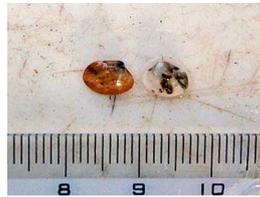


#### 置き砂における生物確認状況－H23年1月27日（施工2年7ヵ月後）

- ・置き砂の高潮帯と中潮帯の間ではコメツキガニが確認された。
- ・置き砂の中潮帯から低潮帯付近に二枚貝のアサリ、シオフキガイ、オオノガイを観察した。これら二枚貝は全て殻長0.5cm前後の稚貝であった。



置き砂干出域で確認された  
コメツキガニ(甲幅1cm程度)



置き砂の中潮帯～低潮帯で確認された  
アサリの幼貝(2～4個体/0.25㎡)



置き砂の中潮帯～低潮帯で確認  
されたシオフキガイの幼貝